



小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【令和 7 年度】

小規模多機能ホーム陽だまり

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・(事-①～⑨)

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・(地②-1～6)

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 11 月 15 日 (17:00 ~ 18 : 30)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	11 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	10 人	人	人	11 人

前回の改善計画	利用開始のニーズ・開始に至った経緯・目的と訪問・通い・泊りの希望やできる限りの情報の共有と疑問点に対しての意見を抽出して利用開始当初の家族・スタッフの不安軽減のための情報の収集を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	できる限り可能な情報収集はできており疑問点には即時対応ができるようにしていた。情報収集の量が確保できないこともあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	1	10			11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	1	9	1		11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	4	7			11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	3	7	1		11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用開始前にまずは関係作りから取り組み「訪問」の導入等個人に合わせた方法をとっている。慣れていない、また行きたくないと言われる方に関してはまずは「訪問」で顔見知りになってからの「通い」の実施など個別に対応している。アセスメントの内容に関しては職員間での情報共有は出来ている。送迎時の声掛けの工夫で本人・家族との信頼関係が築けており、笑顔や安心感に繋がっている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用開始時はご本人様・家族も思いを吐露することが少なく、細かな情報収集までは難しい。ある程度の情報は入るが踏み込んだニーズの把握まではいきつかない。家族都合のご利用される時もあり本人のニーズや必要な支援が初期支援の際に見つかりづらいことがある。本人様が思いを言うことが出来ず、代弁すらしづらいこともある。家族もどうしていいかまだ方向性がみえていない時もあり、予後予測が立てづらい。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
初期支援で話しやすい相談援助技術の向上を目指し、利用開始に至った経緯・目的・現状の不安・希望等の情報収集と共有を行う。情報の追加を随時行える体制を構築し、利用開始時の本人・家族・スタッフの不安軽減に取り組み、寄り添う姿勢を続ける。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 11 月 15 日 (17:00 ~ 18 : 30)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	11 名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	3 人	7 人	人	11 人

前回の改善計画	ケースカンファレンスの開催を引き続き行い、期間を決めて「何がしたいのか？やりたいのか？」実現の目標を明確に立てていく。決めた期間に対しては必ずフィードバックをして振り返りを行う等内容の充実を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	毎月のカンファレンスは開催していたが定期的なケースカンファレンスの開催が出来ず期間を決めてのフィードバックが出来なかった。ただ個々のケース対応は不定期で実施していた。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか？	1	6	4		11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	6	4		11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1	6	4		11
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	2	6	3		11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
個別に「買い物に行きたい」「何かを食べに行きたい」という要望に関しては即時に対応できていた。自分の希望を言われる方に関しては思いの抽出も出来ていた。不定期ではあるがケースカンファレンスを通して話し合うことが出来ておりその情報も共有できている。個々の「〇〇したい」の声を見逃さず実現しようとしており、声を聴く体制が出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
定期的な「ケースカンファレンス」の開催は出来ていない。認知症状により希望を伝えられない方が増えてきており、思いの抽出や「～したい」を実現できていない方がいる。また実行後のフィードバックや振り返りも不足している。家族の意向に先導され本人の思いが置き去りにされることもある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ケースカンファレンスで話し合うことを事前に資料配布して短時間で定期的開催する。実現可能なテーマを決め一つずつ実施し、実施したら次のステップに進むようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 15 日 (17:00 ～ 18 : 30)
3. 日常生活の支援	メンバー	11 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	4 人	5 人	人	11 人

前回の改善計画	アセスメントの充実を図る為に、現在の全社協のアセスメントの他にセンター方式や私のアルバムを活用し、ご本人様を知ることにより視点を向けるようにチーム全体で取り組む。常にすぐに記載できるような体制を取り、話づらうご利用者様からはご家族様の声を聞きながら、生活全体を把握できるように努めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	スタッフが個々に聞き取りをしながらセンター方式のアセスメントを追加し、知ろうとしており常に記載できる環境整備は出来ている。できる限り情報を集める体制は出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？		4	6	1	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	8	3			11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	4	5	2		11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	9	2			11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	6	5			11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
日々の変化や家族状況も含め報告・記録しており情報共有も確実にされている。スタッフ間で連携し同じ方向性でケアしている。介護職、看護師、計画作成者とそれぞれの立場で気づいたことや変化はご家族様へ伝達し、即時対応できる体制になっている。記録も電子化しており誰でもすぐに見ることが出来る。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ケアプランを見返したり台帳に目を通すことが出来なかった。私のアルバムの活用など本人の状況、生活歴を勘案した対応が出来ていない時がある。また最初作ったアセスメントやセンター方式など追加をしていない時もある。「怪我をするかもしれないから」「汚れてしまう」とリスク回避の為に行動の制限をするときがあり、本人様のしたいように出来ないことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
現在の全社協のアセスメント・センター方式・私のアルバムを活用して情報の収集と追加をし、本人様を知る視点をチーム全体で持つ。常に様式を見れる場所に設置して職員全体で情報追加に努める。変化に気付ける体制を作っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 15 日 (17:00 ~ 18 : 30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	11 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2 人	7 人	2 人	人	11 人

前回の改善計画	ゴミ出しや回覧板など小さなことから地域とのつながり作りに努め、日中の過ごし方を把握するために「訪問」やご家族様からの聞き取り調査を実施し、地域とのつながりづくりを本人・家族と一緒にやっていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	毎週のゴミ出しや回覧板を回す等ご本人様の出来ない部分を介助しており、近隣の方とのつながりを継続している。必要な方に関しては支援が出来ているが、それ以外の方の地域とのつながりは少ない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	2	6	3		11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1	8	2		11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	1	6	3	1	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	1	4	6		11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
訪問時に、その日の様子や会話の中で一日何をしていたか等聞き取りが出来ている。家族がいる方は家族とも会話が来ており、訪問の際に物の位置などから本人の暮らしぶりの把握に努めている。回覧板を回すことは出来ているが頻度としては少ない。近隣の方や民生委員とも連絡を取ることが出来ている。フェースシートで以前の生活や家での暮らしを知ることが出来るようになっている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
「訪問」時の前後にしていることは把握出来るが、それ以外の時間をどのように過ごしているか正確にはわからない。個々に人間関係の把握は難しく、民生員や地域資源までの把握は難しい。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
送迎時、ゴミ出し、回覧板を回すときなど地域の方とのつながりを大切に、かかわりを継続していく。わかりづらい「日中」の過ごし方などは訪問の際に情報収集をして、事業所内や家族との連携を図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 15 日 (17:00 ~ 18 : 30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	11 名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	4 人	7 人	人	人	11 人

前回の改善計画	センター方式のシートを活用し本人の「変化」に気づけるように都度書き留める習慣をつくるようにする。引き続きカンファレンス、ケースカンファレンスの開催を定期的に行う。保育園・ボランティア等地域資源の活用を継続していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	センター方式のシートを徐々に埋めながら「変化」をスタッフ間で情報共有している。都度の書き留めることは難しいが、時間をとり記入している。保育園やボランティアも積極的に受け入れている。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	6	3	2		11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	7	4			11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	7	4			11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	7	4			11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域資源（保育園・ボランティアの方々）との交流もだいぶ増えており、利用者が喜んでいるのが見てとれる。外部との交流機会もあり、楽しい・嬉しいという感情へのアプローチが出来ている。カンファレンスの定期的な開催は出来ている。宿泊は急な泊りにも対応できており、家族のレスパイトケアの目的でも実施し、在宅生活の維持が図れるようにしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人の希望ではない「宿泊」が多く本人の思いに沿っていない気がする。「変化」をセンター方式を使用して書き留めることが出来ていない。できていないことに着目し出来るようになったなど「良い変化」の情報共有があまりできていない。地域資源の活用はあまりされていないようである。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
「良い変化」についてカンファレンスや申し送りで情報共有し、今後の支援に繋げていく。引き続きセンター方式のシートの活用し、ケースカンファレンスについては開催時間について見直しを行い、定期的な開催を目指す。開かれた事業所を目指し保育園・ボランティアとの交流を持ち続ける。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 15 日 (17:00 ～ 18 : 30)
6. 連携・協働	メンバー	11 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	4 人	6 人	1 人	人	11 人

前回の改善計画	その他のサービス機関との会議内容の伝達を確実にし、引き続き地域の高齢者や子どもたちとの交流場所を作る等開かれた雰囲気づくりに努める。また地域の活動やイベントにスタッフが参加できる機会づくりに努める。ライフサポートワーカーの活動参加を継続し、活動内容をスタッフに伝達していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	自治会や地域とのつながり、行事参加は出来ているが限られた職員のみの参加だった。地域のイベント参加は出来ており、顔の見える関係づくりは出来ている。ただライフサポートワーカーの活動は時間外・夜間帯の開催のためあまり参加できていないが、参加した時は内容について伝達出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	6	5	0	0	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	4	5	1	1	11
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	5	5	0	1	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	7	3	0	1	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
保育園児やボランティアの方々など外部と交流し、集いの場を作ることが出来ている。交流機会も以前よりかなり増えており、定期的な行事参加が出来ている。地域イベントやネットワーク推進会議など地域の会議にも参加出来ている。ライフサポートワーカーの集まりに参加したり、地域へ出向く「トメさん号」等の活動も参加出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
すべての職員が満遍なく行事参加することはできず特定の職員に限られてしまっている。保育園児などがくることはあってもこちらから出向くことはなく活動範囲が限られていた。 ライフサポートワーカーの活動は時間外が多かったり業務時間でも業務を抜けることが難しく参加することが出来ない時が多かった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
幅広くスタッフが地域行事に参加できるように、事前に行事予定の告知を行う。地域の高齢者の集い・子育て支援団体との交流に努める。 ライフサポートワーカーの活動参加の実施と、行事や活動内容についてスタッフへ伝達を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 15 日 (17:00 ～ 18 : 30)
7. 運営	メンバー	11 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	4 人	6 人	1 人	人	11 人

前回の改善計画	地域の方から必要とされる事業所つくりのために、運営推進会議を通して定期的に意見をきく機会を設ける。出された意見内容について職員へ伝達し、全体としての地域への貢献に努める。 またご家族様・ご利用者様とのコミュニケーション機会を増やし、意見に対して共有するなどして具体的に反映していくよう行動する。
前回の改善計画に対する取組み結果	運営推進会議での積極的な意見や地域の困りごとなどを共有し、必要なことを理解することができた。ご家族様も参加されて意見をいただくことができ、コミュニケーションをとる機会を多くとることが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	6	5			11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	4	5	1	1	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	5	5		1	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	6	4		1	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域の方から事前に「草刈り」等情報をいただき参加していた。都度ご家族様より出た意見も共有できおり苦情に至らず改善している。臨機応変に利用の追加や宿泊を増やす事で、利用者だけではなく家族支援にもなっている。「家族交流会」を開催し、家族の参加や他の施設との交流ができた。意見が家族から出た時はカンファレンスや申し送りを通して共有できている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
職員みんなで参加することが出来ず、限られたスタッフにとどまってしまう。直接家族と関わらないスタッフもあり、意見を聞く機会がない。地域と協働する取り組みを実施には至っていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
運営推進会議の定期的な開催時に意見を抽出し、地域の方から必要とされる事業所つくりを努める。限られた職員だけでなく交代で色々な職員が会議に参加できるようにする。 送迎時、それ以外でも利用者・家族・介護者からの意見を常に聞ける体制づくりを目指し、信頼できる関係性を構築する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 15 日 (17:00 ~ 18 : 30)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	11 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7 人	4 人	人	人	11 人

前回の改善計画	引き続き外部研修や地域連絡会への参加を継続していき、その内容についてカンファレンスを通じて職員への伝達、共有をしていくようにする。 法人内の委員会と協力しインシデント・アクシデントが起きない体制づくりと、発生した際の情報共有や内容の分析を行い再発防止に努めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域連絡会や外部研修に関しては参加する機会が多く伝達もできているが、実践にまでは至っていない。すぐに伝達できる環境にはあり情報共有できている。委員会に置いてインシデント・アクシデントの共有が出来ており、同一事例が起きないような体制づくりが出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	10	1			11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	7	4			11
③	地域連絡会に参加していますか	6	3	2		11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	7	4			11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
研修は内外ともに参加できており、研修開催もしっかり周知されている。カンファレンスは毎月定期的開催できている。研修参加の機会やフォロー体制も整っている。インシデント・アクシデント報告があった際はその日のうちに対策について検討し、再度月 1 回のカンファレンス時にも検討を実施し同じような事例が起きないように努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
インシデント・アクシデントが起きない体制づくりは出来ていない。発生した際の情報共有は出来ているが、書面のみが多く事務的になっている。地域連絡会等一部のスタッフしか参加できず、参加機会が少ないスタッフも多い。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
研修参加にとどまらず伝達研修も実施し情報の共有を図る。インシデント・アクシデントに関しては法人内他施設とも情報共有をはかり同一事例の発生しないように努める。 資格取得・スキルアップ研修への参加の機会を作る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 15 日 (17:00 ~ 18 : 30)
9. 人権・プライバシー	メンバー	11 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	8 人	3 人	人	人	11 人

前回の改善計画	身体拘束・高齢者虐待について、常に振り返り考える機会を持つようにし、研修への参加を維持していく。身体拘束・高齢者虐待につながらないように事業所全体でストレスケアに努め、身体拘束廃止・虐待防止委員会を通して様々なケースに対応できるように、研修参加や情報共有に努めていく。 必要な方への成年後見人制度の活用にも努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	身体拘束・高齢者虐待防止委員会による研修や、プライバシーの保持の研修により全体の意識が向上するように努める事ができた。意識があがることで、気にかかる介助方法があった際も改善方法を考えることができた。成年後見人制度の制度利用をすすめた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9	2			11
②	虐待は行われていない	11				11
③	プライバシーが守られている	11				11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	10	1			11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	11				11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
会議で出た意見等はカンファレンス内で共有できている。定期的研修や全体研修、個別研修を行っており、学ぶ機会や振り返りの機会を設けることが出来ている。入浴拒否がある方に対しては人を代えて声掛けをしたり、うまくいった方法を共有する等、対応に努めていた。職員自身のストレスケアにも努め、身体拘束・高齢者虐待に繋がらない職場環境づくりに努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
成年後見人制度の理解が進んでおらず、制度が必要な方の制度の活用や導入の前段階も進んでいない。「ちょっと待ってください」「～しないでください」等のスピーチロックをしてしまっており、言っている職員にその場で注意することが出来ず、言いづらいことがある。書面で指導するが、職員間で温度差があり他人事と思ってしまう傾向にある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
身体拘束・高齢者虐待防止については、常に利用者目線に立ち、振り返り、起きない体制づくりをする。職員の意識の向上と伝達研修の定着を目指し、職員のストレスケアにも努めていく。 必要な方への成年後見人制度の活用ができるように努める。	

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	4		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	4		
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	4		
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	3		1

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・これだけ施設内で話し合うのも大変だと思った

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取り組み結果に対する意見

- ・一つ一つの用語でわからない言葉もあった。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・なかなか説明を聞いて聞くだけでいっぱいになり理解まで至らない。
- ・毎年しているが外からではわかりにくい中での回答で回答しづらい

【改善計画】※後日記入

- ・引き続き地域から必要とされる施設となるように法人全体で取り組む。
- ・スタッフと常にご利用者様について話し合いの場を作り意見の言いやすい環境作りを目指す。
- ・ご利用者様中心のサービスの提供を目指す。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		1
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	4		
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	3		1
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	3		1
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	3		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・はい。いいえ、わからないの3択で回答することが難しくその中間のチェック欄が欲しい。
- ・面会なども柔軟に対応していただいている様子が見て取れる。

【前回の改善計画】

利用される方、ご家族様はもちろんのこと地域住民の方々、ボランティアの方、ネットなどを見て興味を持たれた方にも入ってきやすい、そして心地よく過ごしていただける場所を目指す。情報の発信の形態も様々な手法を試していく。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・会議のあるところしか入らずそれ以外のところは日常的に入ることがない。
- ・詳しくわからない中でのアンケートの回答は難しい。

【今回の改善計画】※後日記入

- ・ご利用者様、ご家族様、地域の方々、ボランティアの方と入りやすい施設作りを目指す。
- ・ネットなどを見て興味を持たれた方も入ってきやすく心地よく感じ、過ごすことのできる場所を目指す。
- ・今以上に情報の発信の機会を増やしていく。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		
1	職員はあいさつできていますか？	4		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	4		
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	2		2
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	4		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・毎回元気よく挨拶をしてくれる。
- ・広瀬の人に広く知られているかは判断できない。
- ・若い世代なども知っているかはわからない。
- ・地域のイベントなどは決まった人しか参加していない。
- ・仕事の都合で難しいとは思いますがもう少し他の職員さんも参加する機会を作ってみてはどうか？

【前回の改善計画】

引き続き地域の清掃活動や行事等地域活動へは積極的に参加して地域の一員としての責務を果たしていく。地域の貢献活動の形態も検討し地域に還元できる活動ができるように努力する。

また近くにある事業所となるように開かれた施設を目指し広報活動にも力を入れていく。地域の民生委員の会議や老人会・サロンにも参加をし勉強会や意見交換会を行う。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・現在「婦人会」という言葉は現在は使わない。人権と言うならばこの言葉は使わない。使うこと自体おかしい。

【改善計画】※後日記入

ネットワーク推進会議などにも積極的に参加をする。今年度実施が少なかった地域の民生委員の会議や老人会・サロンへ参加し地域の事業所としての責務を果たしていく。そして、気軽に相談できる「まちかど相談所」の機能を強化していく。限られた職員だけでなく広く職員が地域行事に参加できるようにしていく。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？		4	
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	4		
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	3		1
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	3		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・大変と思うが他のスタッフも地域行事に参加して欲しい。
- ・今年からの「秋祭り」に参加してくれてよかった。
- ・いつも防災・地域清掃にも参加してくれている。

【前回の改善計画】

勤務の調整などで職員交代で地域の清掃活動・敬老会・防災訓練などへ参加していけるように機会を作っていく。ご利用者様自身も住み慣れて地域の行事・イベントに参加できるように支援して住み慣れた自宅での生活を維持できるように支援していく。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

広瀬の高齢者が久々に「秋祭り」に参加して懐かしい方と会えてよかったのでは？今後も広瀬地区の方がいたら参加してくれるといいのだが。

【改善計画】※後日記入

できる限り勤務の調整を行い地域の清掃活動・防災訓練・敬老会・秋祭りなど広く職員が参加する機会を作っていく。ご利用者様それぞれの地域の行事に参加できるように地域の方、民生委員の方と研修機会を通して顔の見える関係性を築けるようにする。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	4		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	3		1
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	4		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	3		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・ 毎回資料などで写真がありわかりやすい。
- ・ 個人情報もあり細かなことまで相談していたらきりが無い。
- ・ そこまで一事業所の人に関わるのは大変だと思う。
- ・ 時間的に一緒に取り組んだり難しいと思う。

【前回の改善計画】

運営推進会議を定例の近況報告だけに終わることなく、地域に根差した事業所として積極的に地域の困りごとや事例検討を行い対応と一緒に取り組んでいく。民生委員の方とも連携を取り意見交換・話し合い・勉強会を実施していく。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見

いつも細かな報告があり状況がわかる。

【改善計画】※後日記入

運営推進会議の中で困りごとや地域課題の抽出に努める。その中で具体的な事例の発表・検討を行い対応方法について一緒に取り組んでいく。地域の事業所としての役割を果たしていけるようにする。

定例の会議に終わることなくより具体的な意見の出やすいテーマ設定など工夫をしていく。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	4		
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	3		1
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	3	1	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	4		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・ 毎回防災訓練には参加してくれている。
- ・ 実際はここ広瀬は水害など心配ない。ここがつかるときは全部つかる。

。

【前回の改善計画】

職員が交代で防災訓練に参加したり各自ハザードマップを把握し地域での役割を認識し、事業所の防災訓練へ地域の方々へ参加していただき非常時の協力・協働できるように日頃より連携力を高め、訓練を一緒に行い「頼られる事業所」を目指す。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・ 実際の非難は高齢者は難しいと思う。
- ・ 近くの自衛隊を頼るのが一番。
- ・ 一人暮らしの方は雨戸の開け閉めなどしに行っている。

【改善計画】※後日記入

職員が交代で防災訓練に参加できるようにする。ハザードマップの把握に努め地域の役割を認識する。相互に防災訓練に参加し、事業所の防災訓練の際は地域の方にも参加していただき協力・協働できるようにする。

「頼られる事業所」となれるように日頃より連携力を高め、一緒に訓練を行う。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人誠井会	代表者	井料 宰
事業所名	小規模多機能ホーム 陽だまり	管理者	秋丸 佳代子
法人・事業所の特徴 閑静な住宅地に位置し医療法人を母体にデイサービスセンター・サービス付き高齢者住宅・グループホームと常に連携を取り合い、法人全体で委員会活動等も取り組んでおり外部研修などへの参加も積極的に行われています。あわせて緊急時の協力体制も整っております。季節感を取り入れた活動を積極的に行的っており常に笑顔で過ごしていただけるように努めております。 食事は専門の業者に提供していただくことでバランスの取れた季節感のある食事の提供などによりゆとりのある活動や対応ができています。			

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	人	人	0人	人	5人	人	9人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A.事業所自己評価の確認	地域の方が気軽に立ち寄れる「寄り合い」のような場所を作っていく。地域に根ざした施設になるように法人全体で取り組んでいく。できる限り多くのスタッフで御利用者様について話し合いの機会を作り、御利用者様中心の施設サービスの提供を目指す。	定期的にカンファレンス・ケースカンファレンスを実施している。日常的には申し送りなどで職員間の情報共有は細かく実施できている。個々のご利用者様に合わせたケアができている。	これだけの量を施設内で話し合うのも大変だと思った。ひとつ一つの用語も難しくわからない点もあった。専門用語でわかりづらい。毎年しているが外からではわかりにくい中で回答しづらい。	引き続き地域から必要とされる施設となるように法人全体で取り組む。 スタッフと常にご利用者様について話し合いの場を作り意見の言いやすい環境作りを目指す。 ご利用者様中心のサービスの提供を目指す。
B. 事業所のしつらえ・環境	利用される方、ご家族様はもちろんのこと地域住民の方々、ボランティアの方々、ネットなどを見て興味を持って心地域よく過ごしていただけたらいい。情報発信の形態も様々な手法を試していく。	看板等を目につくところに設置している。案内にもわかりやすい表示を記載している。そのため電話などでも説明しやすく電話での問い合わせに対応しやすい。心地よい環境作りをしている。 情報の発信も定期的にタイムリーな話題提供をしている。	3 択の質問で回答することが難しく、中間の回答が出来ればと思うところもあり。会議などで入るところ以外はあまり入る機会がない。発信された情報を見る手段がない。	ご利用者様、ご家族様、地域の方々、ボランティアの方と入りやすい施設作りを目指す。 ネットなどを見て興味を持たれた方も入ってきやすく心地よく感じ、過ごすごとのできる場所を目指す。 今以上に情報の発信の機会を増やしていく。

C. 事業所と地域のかかわり	引き続き地域の清掃活動や行事など地域活動へは積極的に参加して地域の一員としての責務を果たしていく。地域の貢献活動の形態も検討し地域へ還元できる活動ができるように努力する。また地域にある事業所として頼りになる存在になるように開かれた施設を目指し広報活動にも力を入れていく。地域の民生委員の会議や老人会・サロンにも参加し勉強会や意見交換会を行う。	地域の行事に施設を利用中の地域の方の参加もあり交流ができた。地域行事に広く職員が参加することができ決まった職員に限られていた。勤務の関係でみんなというわけにはいかなかった。	元気よく挨拶をしてくれて気持ちが良い。若い世代が知っているかは不明。地域とのイベントには決まった人しか参加していない。仕事の都合で大変とは思いますが他の職員の方も参加できればと思う。「婦人会」という表現は今の時代では存在していない。	ネットワーク推進会議などにも積極的に参加をする。今年度実施が少なかった地域の民生委員の会議や老人会・サロンへ参加し地域の事業所としての責務を果たしていく。そして、気軽に相談できる「まちかど相談所」の機能を強化していく。限られた職員だけでなく広く職員が地域行事に参加できるようにしていく
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	勤務の調整などで職員交代で地域の清掃活動・敬老会・防災訓練などへ参加していけるように機会を作っていく。御利用者様自身も住み慣れた地域の行事・イベントに参加できるように支援をして済安らた自宅での生活を維持できるようにする。	地域の清掃活動・防災金連には参加できたが敬老会・防災訓練には参加できていない。ただし御利用者様の住んでいる地域の行事に参加する援助でき本人・地域ともに楽しめた。	今年から試みた「秋祭り」にも参加してくれてよかった。とくに広瀬在住の利用者の方が地域行事に参加して顔なじみの方と会えたことは特によかった。いつも防災・地域清掃にも参加してくれている。	できる限り勤務の調整を行い地域の清掃活動・防災訓練・敬老会・秋祭りなど広く職員が参加する機会を作っていく。ご利用者様それぞれの地域の行事に参加できるように地域の方、民生委員の方と研修機会を通して顔の見える関係性を築けるようにする
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議を定例の近況報告だけに終わることなく、地域に根ざした事業所として積極的に地域の困りごとや事例検討を行い対応に一緒に取り組んでいく。民生員の方とも連携をとり意見交換・話し合い・勉強会を実施していく。	会議のメンバーの顔に見えやすき関係性が出来ており発言しやすき建設的な意見が多かった。具体的な困りごととの抽出までは至っておらずその場での一時的な話に終わってしまった。	発言しやすき関係性が出来ており積極的な意見交換ができている。時間的な制約があり一緒に取り組むことは難しいと思う。個人情報があり相談したきりがない。	運営推進会議の中で困りごとや地域課題の抽出に努める。その中で具体的な事例の発表・検討を行い対応方法について一緒に取り組んでいく。地域の事業所としての役割を果たしていきけるようにする。定例の会議に終わることなくより具体的な意見の出やすいテーマ設定など工夫をしていく。
F. 事業所の防災・災害対策	職員が交代で防災訓練に参加したり各自ハザードマップを把握し地域での役割を認識し、事業所の防災訓練へ地域の方々にも参加していただきたき非常時の協力・協働できるように日頃より連携力を高め、訓練を一緒にを行い「頼られる事業所」を目指す。	今年度は複数名地域の防災訓練に参加できた。個々がハザードマップの理解までは至っていない。ただし職員自体が被災したりして我がこととしてとらえ防災意識が高くなった。	毎回地域の防災訓練には参加できている。実際水害の起こりやすい地域ではないため現実味にかけが今年近頃は近くで災害があり水害だけでなく我がこととしてとらえられた。高齢だと実際避難することは難しいと思った。	職員が交代で防災訓練に参加できるようにする。ハザードマップの把握に努め地域の役割を認識する。相互に防災訓練に参加し、事業所の防災訓練の際は地域の方にも参加していただき協力・協働できるようにする。「頼られる事業所」となれるように日頃より連携力を高め、一緒に訓練を行う。